

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月3日

上場会社名 株式会社ワンダーコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 3344 URL http://www.wonder.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日下 孝明  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 塚田 英雄 (TEL) 029-853-1313  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	41,414	△2.5	31	△80.0	148	△34.9	30	△78.0
26年2月期第2四半期	42,485	29.0	156	△45.4	228	△35.5	138	178.6

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 △53百万円( -%) 26年2月期第2四半期 190百万円( 178.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	5.68	—
26年2月期第2四半期	25.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	41,705	13,972	28.3
26年2月期	40,222	14,152	29.6

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 11,805百万円 26年2月期 11,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△3.4	800	△9.6	950	△11.4	200	△82.3	37.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	5,403,600株	26年2月期	5,403,600株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	25,440株	26年2月期	25,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	5,379,382株	26年2月期2Q	5,378,943株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	9
(セグメント別商品別販売実績)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策を背景に企業収益が改善し雇用が回復傾向にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動による消費の落ち込みや、円安による原材料価格の上昇等、国内景気の下振れリスク要因もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営資源の集約と経営効率を向上させるため、平成26年6月1日付でTSUTAYA事業を運営する株式会社サンレジヤと株式会社ケイ・コーポレーションを合併し、社名を株式会社Vidaway（ヴィダウェイ）といたしました。また、5月よりグループ各社のゲームソフト、音楽・映像ソフト、書籍等の商品部を連結子会社である株式会社ニューウェイブディストリビューションに移管いたしました。さらに、新星堂の管理部を当社に統合することで、二重コストの削減とノウハウの共有を推進してまいりました。

WonderG00事業におきましては、スマートフォン及びインターネットの普及による無料コンテンツやネット通販の影響を受け、既存商材の販売は厳しい状況が続いております。このような状況の中、従来の商品構成と売場レイアウトを見直し、新たな収益の柱を構築するためWonderG00茂原店を改装し、一般文具に加え、エンタテインメント性の強いキャラクターグッズの売場を新設いたしました。今後も既存店へ新規商材の導入等を行い店舗価値の向上に取り組んでまいります。

WonderREX事業におきましては、WonderG00事業のFC店舗であった藤枝店を3月に収益性の高いリユース業態へ転換し、同事業初のFC店舗となりました。また、WonderG00事業の直営小型店である取手東店を6月にリユース業態へ転換し、カフェ自販機やキッズスペースの導入、婦人服・子供服や生活雑貨等を幅広く取り揃えることで、地域のお客様にご来店しやすい店舗環境を整えました。今後も業態変更や、新規商材の導入等によりWonderREX事業の拡大をさらに図ってまいります。

TSUTAYA事業におきましては、大型複合書店であるTSUTAYA八戸ニュータウン店を4月に新規出店いたしました。同店は、約8万冊を揃える書籍コーナーに加え、「新たな価値観との出会い」を演出するカフェやフード等を併設いたしました。また、連結子会社間の合併により業務の効率を図り一層の収益向上に努めてまいります。

新星堂事業におきましては、差別化戦略として商業施設内においてアーティストのライブ等が行えるイベント連動型店舗を5店舗出店及び1店舗の移転改装を実施いたしました。また、既存店でのイベントにも注力し、2,200回を超えるイベントを開催しました。今後もイベントに注力することで「モノ」から「コト」への転換を図ってまいります。

店舗面におきましては、当第2四半期連結会計期間末の店舗数はWonderG00事業94店舗（内、FC19店舗）、WonderREX事業19店舗（内FC1店舗）、TSUTAYA事業82店舗、新星堂事業130店舗、合計325店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は41,414百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益31百万円（前年同期比80.0%減）、経常利益148百万円（前年同期比34.9%減）、四半期純利益30百万円（前年同期比78.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、24,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,565百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,119百万円、商品が426百万円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、17,556百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が113百万円増加したものの、投資その他の資産が189百万円、無形固定資産が5百万円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、19,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,551百万円増加いたしました。これは主に買掛金が1,243百万円、その他が453百万円増加したことによるものです。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、7,787百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が316百万円減少したものの、その他が480百万円増加したことによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、13,972百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益30百万円と、剰余金の配当134百万円の支払い、少数株主持分の減少76百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、平成26年4月7日付で公表しました業績予想を修正しております。詳細は平成26年10月1日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社である株式会社サンレジャーと株式会社ケイ・コーポレーションが平成26年6月1日付で合併し、株式会社V i d a w a y に商号変更しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (たな卸資産の評価方法の変更)

当社の連結子会社である株式会社新星堂は、従来、商品の評価方法について、売価還元法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法）によっておりましたが、商品管理システムの更新に伴い、商品（書籍除く）について、商品別の原価を把握することが可能になったため、第1四半期より商品別の移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法）に変更しました。

当該会計方針の変更は、上記のシステム更新に伴うものであり、第1四半期の期首に商品管理システムの移行が完了しており、過去の事業年度においては品目別受払データの記録方法が異なるため、過去に遡及して商品別の移動平均法による単価計算を行うことは実務上不可能であります。このため、この会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当事業年度の期首時点において算定することは事実上不可能であり、前事業年度末の商品の帳簿価額を当第2四半期の期首残高として、期首から将来にわたり移動平均法を適用しております。

これにより従来の方法に比べて当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は18百万円減少しております。

## (4) 追加情報

## (たな卸資産の収益性の低下に基づく簿価切り下げにおける計算方法の変更)

当社の連結子会社である(株)新星堂において、通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下に基づく簿価切り下げにおける計算方法については、楽器商品の取り扱いを継続していくことを意思決定し、商品管理に関するシステムが更新され第1四半期において楽器商品の単品管理が可能になったことにより、実態を反映する在庫評価方法に変更しております。

これにより従来の方法に比べて当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は90千円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,072,601	3,191,933
売掛金	1,633,550	1,777,582
商品	16,133,836	16,560,217
貯蔵品	15,595	15,012
未収入金	1,125,398	915,255
繰延税金資産	679,536	691,231
その他	931,922	1,007,177
貸倒引当金	△8,562	△9,014
流動資産合計	22,583,879	24,149,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,903,294	4,719,278
その他(純額)	3,444,535	3,741,721
有形固定資産合計	8,347,830	8,460,999
無形固定資産		
のれん	716,493	730,605
その他	403,810	383,841
無形固定資産合計	1,120,303	1,114,446
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,562,494	6,429,481
その他	1,695,194	1,638,160
貸倒引当金	△86,840	△86,779
投資その他の資産合計	8,170,848	7,980,862
固定資産合計	17,638,982	17,556,308
資産合計	40,222,861	41,705,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,268,084	7,511,275
短期借入金	6,581,667	6,570,000
1年内返済予定の長期借入金	1,955,847	1,883,517
未払法人税等	238,356	208,084
賞与引当金	197,765	219,746
ポイント引当金	976,257	924,019
その他	2,175,980	2,629,218
流動負債合計	18,393,958	19,945,861
固定負債		
長期借入金	4,225,340	3,909,039
退職給付引当金	595,677	586,609
長期預り保証金	334,403	305,607
資産除去債務	814,810	804,358
繰延税金負債	281,604	276,871
その他	1,424,997	1,905,049
固定負債合計	7,676,832	7,787,535
負債合計	26,070,791	27,733,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,379,688	2,379,688
利益剰余金	7,185,625	7,082,071
自己株式	△15,592	△15,864
株主資本合計	11,908,622	11,804,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741	855
その他の包括利益累計額合計	741	855
少数株主持分	2,242,706	2,166,654
純資産合計	14,152,070	13,972,307
負債純資産合計	40,222,861	41,705,704

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	42,485,887	41,414,520
売上原価	28,802,437	27,627,789
売上総利益	13,683,450	13,786,730
販売費及び一般管理費	13,527,409	13,755,526
営業利益	156,041	31,203
営業外収益		
受取利息	22,321	22,053
受取手数料	75,590	118,005
その他	61,821	112,633
営業外収益合計	159,734	252,693
営業外費用		
支払利息	74,270	84,175
割増退職金	—	35,373
その他	12,855	15,454
営業外費用合計	87,125	135,003
経常利益	228,649	148,893
特別利益		
固定資産売却益	92,541	7,311
負ののれん発生益	—	12,693
新株予約権戻入益	40,957	—
事業構造改善引当金戻入額	9,809	—
特別利益合計	143,308	20,005
特別損失		
固定資産売却損	—	199
固定資産除却損	29,208	20,360
減損損失	40,220	11,352
持分変動損失	—	30,006
貸倒引当金繰入額	33,000	—
特別損失合計	102,428	61,919
税金等調整前四半期純利益	269,528	106,978
法人税、住民税及び事業税	75,541	160,628
法人税等調整額	3,886	△127
法人税等合計	79,428	160,500
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	190,100	△53,521
少数株主利益又は少数株主損失(△)	51,543	△84,058
四半期純利益	138,556	30,536



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	190,100	△53,521
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	438	187
その他の包括利益合計	438	187
四半期包括利益	190,539	△53,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,787	30,651
少数株主に係る四半期包括利益	51,752	△83,985

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## セグメント別商品別販売実績

(単位：百万円、%)

商品名		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)		前年同 四半期比
		金額	構成比	
ゲームソフト 及び関連商品	新品	3,973	9.6	△ 13.4
	中古品	1,830	4.4	△ 19.0
	卸売	707	1.7	△ 24.0
	計	6,512	15.7	△ 16.3
音楽ソフト	新品	1,294	3.1	△ 15.1
	中古品	509	1.2	△ 22.7
	卸売	273	0.7	△ 18.3
	計	2,077	5.0	△ 17.5
映像ソフト	新品	1,005	2.4	0.3
	中古品	516	1.2	△ 22.3
	卸売	226	0.5	△ 10.1
	計	1,748	4.2	△ 8.9
書籍	新品	6,088	14.7	△ 4.8
	中古品	169	0.4	△ 33.9
	卸売	632	1.5	△ 8.6
	計	6,891	16.6	△ 6.2
化粧品	新品	889	2.1	△ 11.7
	卸売	94	0.2	14.1
	計	984	2.4	△ 9.7
携帯電話	新品	1,036	2.5	△ 40.8
レンタル	レンタル	1,960	4.7	△ 2.6
その他	その他	1,119	2.7	△ 20.3
WonderG00事業	新品	14,288	34.5	△ 12.2
	中古品	3,026	7.3	△ 21.2
	レンタル	1,960	4.7	△ 2.6
	その他	1,119	2.7	△ 20.3
	卸売	1,935	4.7	△ 15.6
	計	22,331	53.9	△ 13.5
リユース商品		2,672	6.5	△ 1.8
その他		107	0.3	△ 12.9
WonderREX事業	計	2,780	6.7	△ 2.3
TSUTAYA事業	計	7,461	18.0	49.3
新星堂事業	計	8,701	21.0	0.4
報告セグメント計		41,274	99.7	△ 2.5
その他	計	139	0.3	△ 9.7
合計		41,414	100.0	△ 2.5

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
3 「WonderG00事業」の携帯電話の販売高は、取引先との契約形態の変更により手数料収入のみを計上しております。  
4 「TSUTAYA事業」には、平成25年9月に㈱ケイ・コーポレーションを連結子会社化したことによる売上高が含まれております。